

日本光学会平成 18 年度第 2 回常任幹事会議事録

日 時：平成 18 年 11 月 17 日(金) 13:30~17:00

場 所：日本光学会資料室

参加者：伊東幹事長，他 15 名

議 事：

1. 第 179 回幹事会議事録の確認

- ・第 179 回幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が報告された。
- ・Web 論文投稿および審査システムについての進捗報告がされた。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・MOU の更新に関して，Springer と打ち合わせを行ったとの報告があった。
- ・OR の Web アクセス数に関して報告があった。

2-2. 講演会関連報告

(1) 第 31 回光学シンポジウム収支報告

- ・最終収支決算が報告された。

(2) 第 2 回光応用新産業創出フォーラム収支報告

- ・最終収支決算が報告された。

(3) Optics & Photonics Japan 2006 結果報告(速報)

- ・日本分光学会との共催シンポジウムおよび国際シンポジウムは，有意義な結果であったとの報告があった。
- ・会場を効率的に利用できた結果，各会場大きな混雑もなかったとの報告があった。
- ・予稿 CD-ROM を無料配布したことにより予稿集販売数が減少したため，来年からは予稿集販売に関し，完全予約販売等の工夫が必要であるとの報告があった。

(4) 平成 18 年度北陸信越講演会(信越)結果報告

- ・参加者は 49 名，活発な質疑応答がなされ，盛況であったとの報告があった。

(5) 第 33 回冬期講習会進捗報告

- ・ポスターも完成し，順調な進捗であるとの報告があった。
- ・今回より，日本光学会ホームページから登録が可能となったことが報告された。

(6) 平成 18 年度名古屋講演会進捗報告

- ・プログラムが確定し，順調な進捗であるとの報告があった。

(7) 平成 18 年度光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・プログラムが確定し順調な進捗である。今後は懇親会等の手続きを進めるとの報告があった。

(8) 平成 18 年度関西講演会進捗報告

- ・プログラムが確定し順調な進捗であるとの報告があった。

(9) 第 32 回光学シンポジウム進捗報告

- ・実行委員が内定し，近々に委嘱予定であることが報告された。
- ・協賛依頼および広報活動の進捗に関して報告があった。

2-3. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・3 件の協賛依頼について承認された。

(2) 会員動静

- ・大きな会員数の変動はないことが報告された。

(3) 収支計算書

- ・平成 18 年 1 月 1 日から 10 月 31 日までの収支計算書が示された。

(4) 光学論文賞進捗報告

- ・光学論文賞選考委員により，推薦があった中から論文賞を選考するとの報告がされた。

(5) OPJBP 賞結果報告

- ・OPJBP 賞を受賞した 6 名について報告があった。

(6) 会員制度委員会報告

- ・日本光学会フェロー選出委員に対し，フェロー制度・名誉委員・功労委員・評議委員会制度に関してアンケートを実施した結果が報告された。
- ・委員会内で意見の分かれた案件については，最終的には幹事会に諮り決定する考えであることが報告された。

(7) 500 人会員増委員会報告

- ・日本光学会会員募集キャンペーン広告(案)が示された。
- ・入会特典に関しては，IEEE や OSA を参考としながら検討中であるとの報告があった。

(8) 日本光学会 2007 年予算報告

- ・前幹事会で承認された事項を修正した日本光学会 2007 年予算が報告された。

(9) 事務局改善報告

- ・移管が承認されたメーリングリストに関し，順調に運用しているとの報告があった。

3. 審議事項

(1) Optics & Photonics Japan 2007 企画案

- Optics & Photonics Japan 2007 に関し、開催場所：大阪大学コンベンションセンター
開催日：2007年11月27～29日
にすることが提案され、承認された。
- テーマに関しては「彩りと輝きとともに」を軸に調整中であるとの報告があった。
- 各委員に関して、順次選定していくとの報告があった。

(2) 光学会ホームページ改善について

- 10月11日から11月4日までのホームページログ解析および更新履歴が報告された。
- メールフォームとは別に、各イベントでの問い合わせや募集で使用する専用メールアドレスを取得することが承認された。

(3) 日本光学会ロゴについて

- 複数の賛助会員企業に対し、ロゴマーク制作を打診した進捗について報告があった。
- ロゴの商標登録に関し、応用物理学会とコンセンサスをとるよう要請があった。

(4) USB キー管理規則について

- USB キーに関し、保管者を「幹事長が認めた事務局または庶務幹事」まで拡大した管理規則の改定が提案され、承認された。

(5) 入会登録について

- 応用物理学会定款において、除名規定が明記されていることが報告され、イベント会場での入会登録においては、イベント実行委員長が紹介者となることが改めて確認された。

(6) 応用物理学会将来ビジョン・アカデミックロードマップについて

- 応用物理学会で「将来ビジョン・アカデミックロードマップ」の作成を行っており、日本光学会としては、応用物理学会からの依頼により「オプティクス」と「フォトニクス」の2テーマに関し、ロードマップ作成に携わることが報告された。

(7) 応用物理学会 75 周年記念行事について

- 応用物理学会 75 周年記念行事に関し、日本光学会を代表して日本女子大学小館研究室とオリンパス樋田氏が、内視鏡における光学技術についてパネル展示を行うことが承認された。

(8) その他

- 日本光学会平成 18 年度総会が、例年通り応用物理学会春季学術講演会の 2 日目（2007 年 3 月 28 日）に開催されることが報告された。

第 180 回幹事会

2007 年 1 月 16 日（火）に、機械振興会館地下 3 階研修 1 号室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、Optics & Photonics Japan 2006 結果報告、Optics & Photonics Japan 2007 進捗報告、平成 18 年度北陸信越講演会結果報告、平成 18 年度北海道支部学術講演会結果報告、第 33 回冬期講習会結果報告、第 40 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告、平成 18 年度関西講演会進捗報告、平成 18 年度名古屋講演会進捗報告、第 32 回光学シンポジウム進捗報告、カラーフォーラム JAPAN 2006 結果報告、第 41 回サマーセミナー進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、平成 18 年度光学会総会日時、広報活動マニュアル、光学論文賞結果報告、会員制度委員会、韓国光学会との MOU 強化、日本光学会ロゴについて報告がありました。さらに、次期幹事の役職決定、平成 19 年度活動計画案、光学会ホームページ改善について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 36 巻第 5 号に掲載予定です。

第 231 回「光学」編集委員会

2007 年 1 月 19 日（金）に、応用物理学会会議室において開催されました。まず会計の報告が行われました。その後、第 36 巻第 10、11 号、第 37 巻第 4 号の企画決定、第 36 巻第 12 号、第 37 巻第 1 号の第二次構想案、第 37 巻第 2、3 号の第一次構想案の審議、第 37 巻第 5 号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、原著論文投稿・審査状況についての報告がなされました。

平成 19 年度幹事選挙結果報告

平成 19 年度の選挙の開票結果について報告いたします。

開票日：2006 年 12 月 14 日（木）

開票者：伊東幹事長、吉田、岡本

投票総数：118

有効票：112

幹事会推薦候補者得票数：110～111

幹事会推薦以外（記名）：0

白票：0

以上の結果をもって、平成 19 年度の幹事には幹事会推薦候補者 18 名が選出されました。

平成 18 年度日本光学会総会

平成 18 年度総会を下記のとおり行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日 時：2007 年 3 月 28 日（水） 13：00～13：45

場 所： 第 54 回応用物理学関係連合講演会会場（青山学院大学相模原キャンパス E 棟 1F-E106(Y 会場)，相模原市淵野辺 5-10-1)

平成 18 年度光学論文賞および選考委員会

平成 18 年度（第 48 回）光学論文賞は，田中拓男氏（理化学研究所）ならびに王 焯氏（電気通信大学）が受賞されることとなりました。受賞対象論文は次のとおりです。田中拓男氏：

T. Tanaka, A. Ishikawa and S. Kawata: "Unattenuated light transmission through the interface between two materials with different indices of refraction using magnetic metamaterials," Phys. Rev. B, **73** (2006) 125423.

王 焯氏：

W. Wang and M. Takeda: "Coherence current, coherence vortex, and the conservation law of coherence," Phys. Rev. Lett., **96** (2006) 223904.

授賞式および記念講演は下記のとおり行われます。

日 時： 2007 年 3 月 28 日(水)

日本光学会総会・論文賞授賞式 13:00~13:45

記念講演 13:45~15:05

場 所： 第 54 回応用物理学関係連合講演会会場（青山学院大学相模原キャンパス E 棟 1F-E106(Y 会場)，相模原市淵野辺 5-10-1)

なお，選考委員は下記の通りでした。

委員長： 笹木敬司（北大）

委 員： 市村厚一（東芝），金子寛彦（東工大），岡田佳子（電通大），北山研一（阪大），久保田敏弘（京工繊大），斎木敏治（慶大），田中康弘（松下），西澤典彦（名大），春名正光（阪大）

平成 18 年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞

Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞は，奥田洋志氏（慶應大），山内豊彦氏（浜松ホトニクス），寺川光洋氏（慶應大），川口拓之氏（慶應大），堀崎遼一氏（大阪大），段 志輝氏（電通大）が受賞され，授賞式は Optics & Photonics Japan 2006 にて行われました。

なお，選考委員は以下の通りでした。

委員長： 伊東一良

委 員： 伊藤雅英，岡田英史，沖野晃俊，笹木敬司，志村 努，立野公男，本宮佳典，矢口博久

審査委員： 63 名

36 卷 3 号 (2007)

第 32 回光学シンポジウム講演募集

期 日： 2007 年 7 月 5 日(木)，6 日(金)

場 所： 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール（東京都目黒区駒場 4-6-1）

主 催： 日本光学会

参加費： 早期申込の場合（日本光学会会員 2,000 円，応物・協賛学協会会員・賛助会員 4,000 円，非会員（一般）6,000 円，非会員（学生）1,000 円）。早期申込は 6/22（金）までの申込に限ります。通常申込の場合（日本光学会会員 3,000 円，応物・協賛学協会会員・賛助会員 5,000 円，非会員（一般）7,000 円，非会員（学生）1,000 円）

申込方法： 第 36 卷第 4 号に挟み込み予定の郵便振替用紙をご利用いただくか，当日現金にてお支払いください。

問合せ先：（株）リコー 画像エンジン開発本部モジュール開発センター光学 Md 開発室

板橋彰久

〒 243-0460 海老名市下今泉 810

電話 046-292-5792 Fax 046-231-9047

E-mail: optsympo32@kind.ocn.ne.jp

詳細につきましては，日本光学会ホームページ（<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>）をご覧ください。

光設計研究グループ第 37 回研究会「光学材料の最前線とその産業応用（高屈折率材料を中心として）」

近年の光学材料開発の発展はめざましく，すでにさまざまな産業，製品群への適用がなされています。特に高屈折率光学材料が担う役割は大きく，結晶・セラミックス・無機・有機材料等あらゆる方面からの材料開発が精力的に行われています。本研究会ではこの分野の第一線で研究開発を行っている先生方をお招きし，最前線の研究成果と産業への応用，今後のビジョンについてご紹介いただきたいと考えています。カメラレンズ用，通信用，半導体露光装置用，光記録用途として開発された高屈折率材料を中心として取り上げ，材料開発者とレンズ設計者との幅広く深い議論が行える場になればと思います。また，当研究会初の試みとして，光学産業とその周辺技術の産業育成と発展に注力されている東京都板橋区役所とタイアップし，過去の研究会とは赴きを異とする内容を企画しています。開催場所を板橋区内施設とし，プログラム内にも板橋区のものづくり紹介，光学関連企業の方からの講演等を盛り込んでいます。産学連携の一環として豊富な情報提供と，広く技術交流が行える場となるよう努めております。多数のご参加

をお待ちしております。

なお、プログラムおよび開催場所につきましては、光設計研究グループのホームページ (<http://www.opticsdesign.gr.jp/>) にてご確認ください。

日時：2007年4月20日(金) 11:00~17:30

場所：板橋区立グリーンホール2階ホール（東京都板橋区栄町36-1）

主催：日本光学会（応用物理学会）光設計研究グループ

参加費：光設計研究グループ会員 4,000円，光設計研究グループ学生会員 無料，一般 10,000円，学生一般 2,000円。当日，受付にてお支払いください。

定員：100名（定員になり次第締め切ります）

参加申込：氏名（フリガナ），所属，住所，電話，Fax，E-mail，参加区分（参加費参照），懇親会（無料）参加の有無を，E-mailまたはFaxまたは郵送にて下記申込先までお送りください。

申込先：三菱電機(株)先端技術総合研究所レーザ・電気加工技術部 河野裕之

〒661-8661 尼崎市塚口本町8-1-1

電話 06-6497-7107 Fax 06-6497-7288

E-mail: k37reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：オリンパス(株)研究開発センター光学技術部 技術1グループ 足立要人

〒192-8512 東京都八王子市久保山町2-3

電話 042-691-7176 Fax 042-691-7573

E-mail: k37@opticsdesign.gr.jp

ホームページ：<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103638	大川 晋平	電気通信大学
6103635	大塚 周一	東京工業大学
6103625	北辻 真史	ペンタックス(株)
6103640	齋藤 将志	シグマ光機(株)
6103624	佐々木隆洋	キャノン(株)
6103630	鈴木 雅洋	神奈川工科大学
6103637	竹内 誠二	キャノン(株)
6103636	谷川ゆかり	(独)産業技術総合研究所
6103633	根岸 一平	東京工業大学
6103634	藤井 芳孝	東京工業大学
6103632	舟根 司	(株)日立製作所
6103631	矢野菜津三	千葉大学
6103639	Li Beibei	横浜国立大学
B 69112	海老澤瑞枝	東京農工大学
71372	大平 真琴	オムロン(株)
39745	岡田 訓明	シャープ(株)
27546	松井 宏純	石川県工業試験場
71208	松浦 敏晋	大阪大学
71220	松浦 宏紀	北陸先端科学技術大学院大学
70836	真部 勝英	三重大学
50521	森野 剛志	(株)東芝

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	伊東 一良* (大阪大)	笹木 敬司* (北海道大)
副幹事長:	立野 公男* (日立)	
前幹事長:	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事:	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事:	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事:	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事:	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事:	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事:	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事:	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事:	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)

(1) Optics & Photonics Japan 2007 企画案

- Optics & Photonics Japan 2007 に関し、開催場所：大阪大学コンベンションセンター
開催日：2007年11月27～29日
にすることが提案され、承認された。
- テーマに関しては「彩りと輝きとともに」を軸に調整中であるとの報告があった。
- 各委員に関して、順次選定していくとの報告があった。

(2) 光学会ホームページ改善について

- 10月11日から11月4日までのホームページログ解析および更新履歴が報告された。
- メールフォームとは別に、各イベントでの問い合わせや募集で使用する専用メールアドレスを取得することが承認された。

(3) 日本光学会ロゴについて

- 複数の賛助会員企業に対し、ロゴマーク制作を打診した進捗について報告があった。
- ロゴの商標登録に関し、応用物理学会とコンセンサスをとるよう要請があった。

(4) USB キー管理規則について

- USB キーに関し、保管者を「幹事長が認めた事務局または庶務幹事」まで拡大した管理規則の改定が提案され、承認された。

(5) 入会登録について

- 応用物理学会定款において、除名規定が明記されていることが報告され、イベント会場での入会登録においては、イベント実行委員長が紹介者となることが改めて確認された。

(6) 応用物理学会将来ビジョン・アカデミックロードマップについて

- 応用物理学会で「将来ビジョン・アカデミックロードマップ」の作成を行っており、日本光学会としては、応用物理学会からの依頼により「オプティックス」と「フォトニクス」の2テーマに関し、ロードマップ作成に携わることが報告された。

(7) 応用物理学会 75 周年記念行事について

- 応用物理学会 75 周年記念行事に関し、日本光学会を代表して日本女子大学小館研究室とオリンパス樋田氏が、内視鏡における光学技術についてパネル展示を行うことが承認された。

(8) その他

- 日本光学会平成 18 年度総会が、例年通り応用物理学会春季学術講演会の 2 日目（2007 年 3 月 28 日）に開催されることが報告された。

第 180 回幹事会

2007 年 1 月 16 日（火）に、機械振興会館地下 3 階研修 1 号室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、Optics & Photonics Japan 2006 結果報告、Optics & Photonics Japan 2007 進捗報告、平成 18 年度北陸信越講演会結果報告、平成 18 年度北海道支部学術講演会結果報告、第 33 回冬期講習会結果報告、第 40 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告、平成 18 年度関西講演会進捗報告、平成 18 年度名古屋講演会進捗報告、第 32 回光学シンポジウム進捗報告、カラーフォーラム JAPAN 2006 結果報告、第 41 回サマーセミナー進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、平成 18 年度光学会総会日時、広報活動マニュアル、光学論文賞結果報告、会員制度委員会、韓国光学会との MOU 強化、日本光学会ロゴについて報告がありました。さらに、次期幹事の役職決定、平成 19 年度活動計画案、光学会ホームページ改善について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 36 巻第 5 号に掲載予定です。

第 231 回「光学」編集委員会

2007 年 1 月 19 日（金）に、応用物理学会会議室において開催されました。まず会計の報告が行われました。その後、第 36 巻第 10、11 号、第 37 巻第 4 号の企画決定、第 36 巻第 12 号、第 37 巻第 1 号の第二次構想案、第 37 巻第 2、3 号の第一次構想案の審議、第 37 巻第 5 号の号担当の決定が行われました。その後、報告および審議事項を経て、原著論文投稿・審査状況についての報告がなされました。

平成 19 年度幹事選挙結果報告

平成 19 年度の選挙の開票結果について報告いたします。

開票日：2006 年 12 月 14 日（木）

開票者：伊東幹事長、吉田、岡本

投票総数：118

有効票：112

幹事会推薦候補者得票数：110～111

幹事会推薦以外（記名）：0

白票：0

以上の結果をもって、平成 19 年度の幹事には幹事会推薦候補者 18 名が選出されました。

平成 18 年度日本光学会総会

平成 18 年度総会を下記のとおり行いますので、会員の皆様はご出席くださるようお願いいたします。

日時：2007 年 3 月 28 日（水） 13：00～13：45

場 所： 第 54 回応用物理学関係連合講演会会場（青山学院大学相模原キャンパス E 棟 1F-E106(Y 会場)，相模原市淵野辺 5-10-1)

平成 18 年度光学論文賞および選考委員会

平成 18 年度（第 48 回）光学論文賞は，田中拓男氏（理化学研究所）ならびに王 焯氏（電気通信大学）が受賞されることとなりました。受賞対象論文は次のとおりです。田中拓男氏：

T. Tanaka, A. Ishikawa and S. Kawata: "Unattenuated light transmission through the interface between two materials with different indices of refraction using magnetic metamaterials," Phys. Rev. B, **73** (2006) 125423.

王 焯氏：

W. Wang and M. Takeda: "Coherence current, coherence vortex, and the conservation law of coherence," Phys. Rev. Lett., **96** (2006) 223904.

授賞式および記念講演は下記のとおり行われます。

日 時： 2007 年 3 月 28 日(水)

日本光学会総会・論文賞授賞式 13:00~13:45

記念講演 13:45~15:05

場 所： 第 54 回応用物理学関係連合講演会会場（青山学院大学相模原キャンパス E 棟 1F-E106(Y 会場)，相模原市淵野辺 5-10-1)

なお，選考委員は下記の通りでした。

委員長： 笹木敬司（北大）

委 員： 市村厚一（東芝），金子寛彦（東工大），岡田佳子（電通大），北山研一（阪大），久保田敏弘（京工繊大），斎木敏治（慶大），田中康弘（松下），西澤典彦（名大），春名正光（阪大）

平成 18 年度 Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞

Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞は，奥田洋志氏（慶應大），山内豊彦氏（浜松ホトニクス），寺川光洋氏（慶應大），川口拓之氏（慶應大），堀崎遼一氏（大阪大），段 志輝氏（電通大）が受賞され，授賞式は Optics & Photonics Japan 2006 にて行われました。

なお，選考委員は以下の通りでした。

委員長： 伊東一良

委 員： 伊藤雅英，岡田英史，沖野晃俊，笹木敬司，志村 努，立野公男，本宮佳典，矢口博久

審査委員： 63 名

第 32 回光学シンポジウム講演募集

期 日： 2007 年 7 月 5 日(木)，6 日(金)

場 所： 東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール（東京都目黒区駒場 4-6-1）

主 催： 日本光学会

参加費： 早期申込の場合（日本光学会会員 2,000 円，応物・協賛学協会会員・賛助会員 4,000 円，非会員（一般）6,000 円，非会員（学生）1,000 円）。早期申込は 6/22（金）までの申込に限ります。通常申込の場合（日本光学会会員 3,000 円，応物・協賛学協会会員・賛助会員 5,000 円，非会員（一般）7,000 円，非会員（学生）1,000 円）

申込方法： 第 36 巻第 4 号に挟み込み予定の郵便振替用紙をご利用いただくか，当日現金にてお支払いください。

問合せ先：（株）リコー 画像エンジン開発本部モジュール開発センター光学 Md 開発室

板橋彰久

〒 243-0460 海老名市下今泉 810

電話 046-292-5792 Fax 046-231-9047

E-mail: optsympo32@kind.ocn.ne.jp

詳細につきましては，日本光学会ホームページ（<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>）をご覧ください。

光設計研究グループ第 37 回研究会「光学材料の最前線とその産業応用（高屈折率材料を中心として）」

近年の光学材料開発の発展はめざましく，すでにさまざまな産業，製品群への適用がなされています。特に高屈折率光学材料が担う役割は大きく，結晶・セラミックス・無機・有機材料等あらゆる方面からの材料開発が精力的に行われています。本研究会ではこの分野の第一線で研究開発を行っている先生方をお招きし，最前線の研究成果と産業への応用，今後のビジョンについてご紹介いただきたいと考えています。カメラレンズ用，通信用，半導体露光装置用，光記録用途として開発された高屈折率材料を中心として取り上げ，材料開発者とレンズ設計者との幅広く深い議論が行える場になればと思います。また，当研究会初の試みとして，光学産業とその周辺技術の産業育成と発展に注力されている東京都板橋区役所とタイアップし，過去の研究会とは赴きを異とする内容を企画しています。開催場所を板橋区内施設とし，プログラム内にも板橋区のものづくり紹介，光学関連企業の方からの講演等を盛り込んでいます。産学連携の一環として豊富な情報提供と，広く技術交流が行える場となるよう努めております。多数のご参加

を待ちしております。

なお、プログラムおよび開催場所につきましては、光設計研究グループのホームページ (<http://www.opticsdesign.gr.jp/>) にてご確認ください。

日時：2007年4月20日(金) 11:00~17:30

場所：板橋区立グリーンホール2階ホール（東京都板橋区栄町36-1）

主催：日本光学会（応用物理学会）光設計研究グループ

参加費：光設計研究グループ会員 4,000円，光設計研究グループ学生会員 無料，一般 10,000円，学生一般 2,000円。当日，受付にてお支払いください。

定員：100名（定員になり次第締め切ります）

参加申込：氏名（フリガナ），所属，住所，電話，Fax，E-mail，参加区分（参加費参照），懇親会（無料）参加の有無を，E-mailまたはFaxまたは郵送にて下記申込先までお送りください。

申込先：三菱電機(株)先端技術総合研究所レーザ・電気加工技術部 河野裕之

〒661-8661 尼崎市塚口本町8-1-1

電話 06-6497-7107 Fax 06-6497-7288

E-mail: k37reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先：オリンパス(株)研究開発センター光学技術部 技術1グループ 足立要人

〒192-8512 東京都八王子市久保山町2-3

電話 042-691-7176 Fax 042-691-7573

E-mail: k37@opticsdesign.gr.jp

ホームページ：<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103638	大川 晋平	電気通信大学
6103635	大塚 周一	東京工業大学
6103625	北辻 真史	ペンタックス(株)
6103640	齋藤 将志	シグマ光機(株)
6103624	佐々木隆洋	キャノン(株)
6103630	鈴木 雅洋	神奈川工科大学
6103637	竹内 誠二	キャノン(株)
6103636	谷川ゆかり	(独)産業技術総合研究所
6103633	根岸 一平	東京工業大学
6103634	藤井 芳孝	東京工業大学
6103632	舟根 司	(株)日立製作所
6103631	矢野菜津三	千葉大学
6103639	Li Beibei	横浜国立大学
B 69112	海老澤瑞枝	東京農工大学
71372	大平 真琴	オムロン(株)
39745	岡田 訓明	シャープ(株)
27546	松井 宏純	石川県工業試験場
71208	松浦 敏晋	大阪大学
71220	松浦 宏紀	北陸先端科学技術大学院大学
70836	真部 勝英	三重大学
50521	森野 剛志	(株)東芝

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事(*常任幹事)

幹事長:	伊東 一良* (大阪大)	
副幹事長:	立野 公男* (日立)	笹木 敬司* (北海道大)
前幹事長:	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事:	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事:	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事:	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事:	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事:	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事:	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事:	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事:	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)